

# 若者の国内旅行需要創出プロジェクト 「マジ☆部」の取組みについて

〇円感動体験アプリ



じゃらんリサーチセンター  
総合プロデューサー 高橋謙太郎



# この研究プロジェクトの目的

**20歳前後の若者に、  
様々な体験を0円でしてもらうことで  
日本の地域の観光・レジャー産業の  
将来的な需要を創っていくこと**

- 人口減少社会において、サービス参加人口を増やすことで日本の活力を維持し、日本のサービス産業成長に寄与することを目指しています



マジ☆部



**18～22歳の今だけ!**  
とっておきの思い出をつくろう★

マジ☆部は年齢限定でさまざまな感動体験が  
お得になるアプリです。



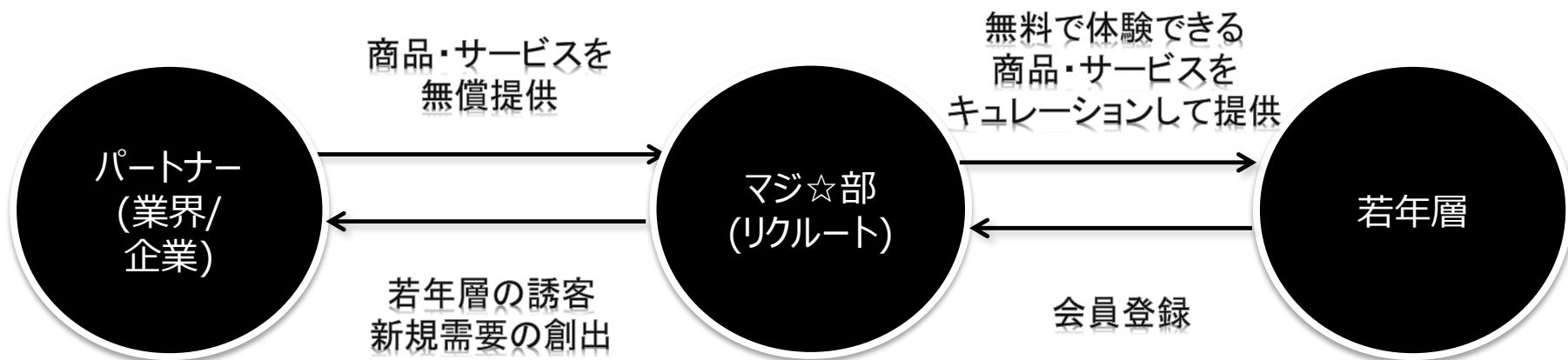
30万人  
——  
120万人

≒

30万人  
——  
100万人

# マジ☆部のサービス提供の仕組み

- ・ エントリー世代に限定したフリーミアムモデルで、若者層の参加需要を創出





# マジ☆部 直近のサービス規模

- 今年度中に会員数『100万人』を突破予定 へ

累計ダウンロード数

117万ダウンロード ※2017年5月27現在

マジ☆部会員数  
19歳～22歳

88万人 ※2017年5月27日現在

全国の19歳の6.5人に1人  
関東エリアの5人に1人が  
会員

マジ☆部アプリ  
TOPページ  
月間PV数

143万pv

2016年度  
マジ☆部コンテンツ

- 【雪マジ！19】19歳はリフト券がタダ！全国190以上のゲレンデで使える！
- 【雪マジ！20】20歳はリフト券が最大50%OFF！
- 【雪マジふくしま】20～22歳は福島県の平日リフト券がタダ！  
※福島県庁、福島県索道協会協働事業
- 【Jマジ！】19歳・20歳はJリーグの観戦がタダ！
- 【ゴルフマジ！】19歳・20歳はゴルフがタダ！  
日本全国約400のゴルフ場・ゴルフ練習場で使える！
- 【つりマジ！】19歳～22歳は釣り船乗船料・釣り堀入場料がタダ！
- 【お湯マジ！】19歳～21歳は温泉がタダ！
- 【お湯マジ！22】22歳は温泉がタダ！大分県の温泉がタダ！ ※大分県庁協働事業



# マジ☆部19歳会員の居住地分布と人口シェア

・ 会員総数：178,025人/1,206,550人 人口シェア：15% 

	国勢調査	マジ☆部19歳	シェア
群馬県	19,042	4,786	25.1%
東京都	118,749	27,492	23.2%
山梨県	8,796	1,964	22.3%
長野県	18,420	3,960	21.5%
新潟県	21,096	4,516	21.4%
埼玉県	72,698	15,505	21.3%
鳥取県	5,109	974	19.1%
神奈川県	89,317	16,858	18.9%
栃木県	17,855	3,269	18.3%
岐阜県	19,651	3,446	17.5%
福島県	17,242	2,975	17.3%
滋賀県	14,761	2,545	17.2%
茨城県	27,614	4,733	17.1%
広島県	27,422	4,497	16.4%
千葉県	58,887	9,474	16.1%

	国勢調査	マジ☆部19歳	シェア
愛知県	75,974	11,955	15.7%
北海道	48,658	7,438	15.3%
富山県	9,207	1,395	15.2%
秋田県	7,930	1,192	15.0%
岩手県	11,183	1,654	14.8%
岡山県	19,335	2,766	14.3%
京都府	27,386	3,801	13.9%
山形県	9,811	1,321	13.5%
石川県	11,380	1,503	13.2%
島根県	5,905	777	13.2%
宮城県	23,598	3,029	12.8%
兵庫県	53,812	6,528	12.1%
大阪府	87,920	10,565	12.0%
福井県	7,304	775	10.6%
三重県	17,068	1,784	10.5%

	国勢調査	マジ☆部19歳	シェア
山口県	12,518	1,170	9.3%
奈良県	14,134	1,199	8.5%
愛媛県	12,159	1,029	8.5%
静岡県	32,274	2,714	8.4%
青森県	11,864	874	7.4%
香川県	8,694	610	7.0%
福岡県	52,100	2,895	5.6%
和歌山県	8,635	463	5.4%
高知県	6,479	343	5.3%
徳島県	6,477	340	5.2%
熊本県	16,665	825	5.0%
宮崎県	9,998	363	3.6%
佐賀県	8,119	286	3.5%
長崎県	12,248	363	3.0%
大分県	10,640	313	2.9%
鹿児島県	14,747	411	2.8%
沖縄県	15,669	288	1.8%
その他	-	62	
総計	1,206,550	178,025	14.8%

※2017年5月16日時点数字にて算出

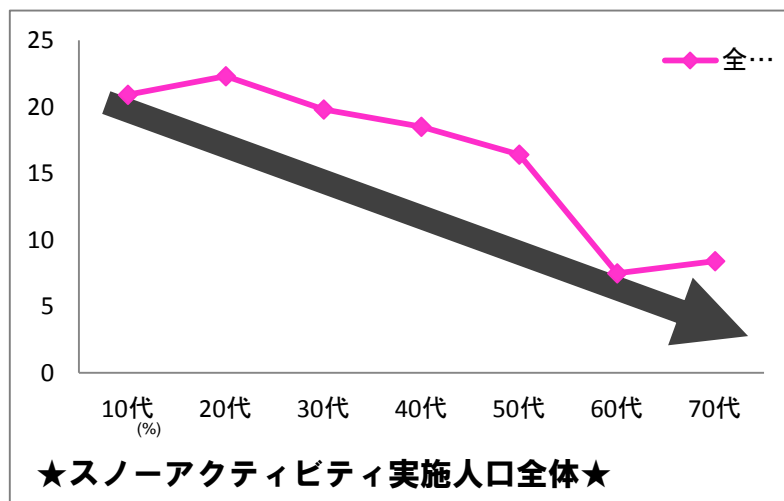


## 企画内容

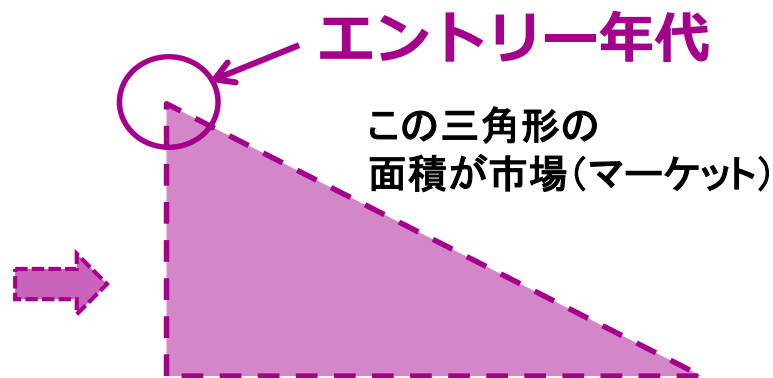
19歳限定で全国190件以上のスキー場でリフト券が無料になる企画

## 市場背景

- ・ スノーアクティビティは年代があがればあがるほど参加率が下がるレジャー  
つまり、「初期参入者数の最大化がカギ」
- ・ エントリータイミングで、最大多数を獲得する市場面積を表す三角形の頂点をなるべく「高く」することが重要



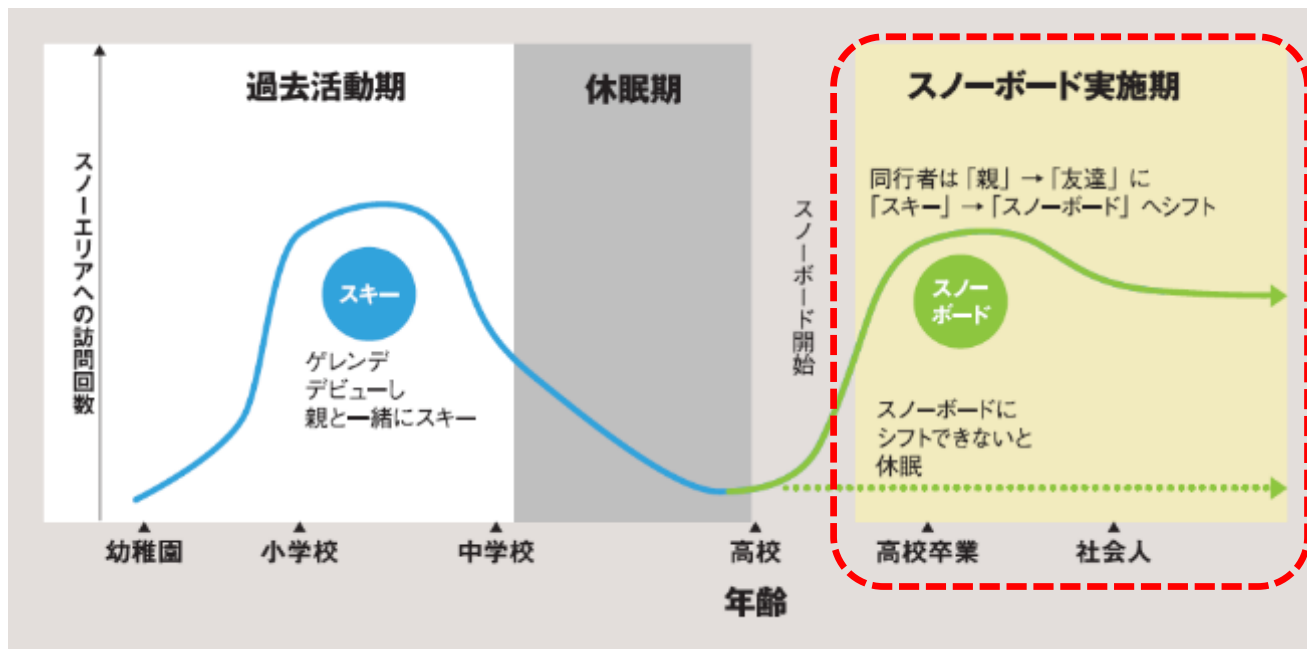
出典：レジャー白書2013 性・年代別余暇活動参加率





## 企画背景

- 正しいエントリー年代にアプローチし、この年代のエントリー数を最大化することが需用創出の肝



高校を卒業した1年間に自分の意志で「友達」とスノーボード（スキー）デビューした層が、その後も継続してスキー場を訪れるユーザーになっていることが判明

# 19歳は全国190件以上のスキー場でリフト券無料！ 「雪マジ！19」実施報告



## 結果報告

全指標前年UP↗ 19歳登録数は昨対105%↗ のベアクション数は120%↗

	ゲレンデ数	19歳登録数	需要創出人数 (※1)	平均来訪回数	のベアクション数	需要創出 アクション数 (※2)
2011-12	89	49,000	17,444	2.6	127,400	45,354
2012-13	136	108,000	44,496	3.2	345,600	142,387
2013-14	172	151,000	61,155	3.5	528,500	214,043
2014-15	181	156,000	69,108	3.3	514,800	228,056
2015-16	191	169,562	78,677	2.9	491,730	228,163
2016-17	<b>194 ↑</b>	<b>178,025 ↑</b>	<b>92,929 ↑</b>	<b>3.3 ↑</b>	<b>587,482 ↑</b>	<b>306,665 ↑</b>

**19歳～20歳はJリーグ観戦が無料！  
観戦旅行が盛んな「Jリーグ」に  
若者を呼び込み旅行市場も活性化を目指す**



企画内容

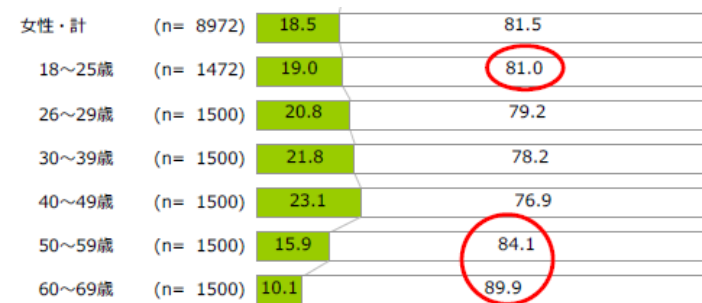
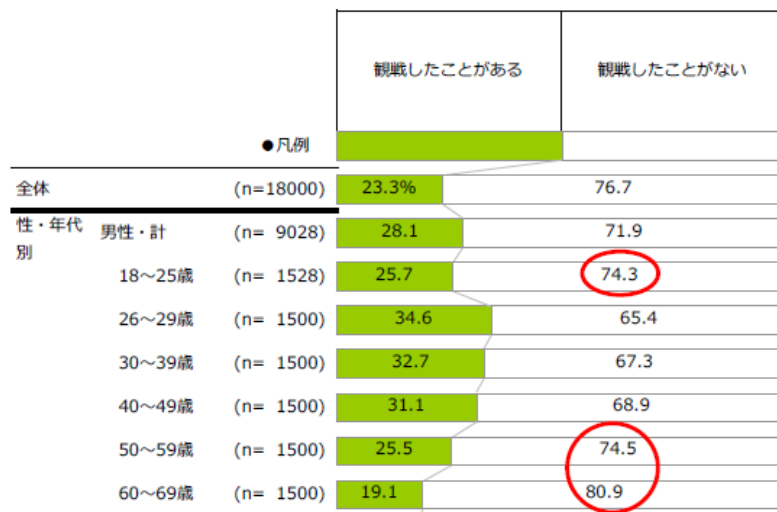
19・20歳限定で、J1・J2リーグの対象試合に無料招待する企画

市場背景

「アウェイ観戦」という文化が根付き、旅行と相性が高いJリーグ。  
一方、市場では「新規ファンの獲得」が課題。

- ・観戦者の平均年齢が年々上昇  
(2011年：38.6歳→2016年：41.6歳 ※ Jリーグスタジアム観戦者調査より)
- ・若者層の観戦経験率が低い

Jリーグ観戦経験（Jリーグ観戦実態調査2014）



企画背景

- ・潜在需要が高いのは「18～25歳」の若者世代
- ・Jリーグ観戦への入れ込み度がもっとも高いのも「18～25歳」  
(とても入れ込んでいると回答した割合…全体平均：13.9%。  
18～25歳：24.8%)
- ・直近1年のアウェイ観戦割合が多いのも「18～25歳」  
(全体平均：36.9%。18～25歳：42.6%)

Jリーグ観戦の経験と意向（Jリーグ観戦実態調査2014）

	観戦経験なし・計	観戦意向あり・計			観戦経験あり	
		ぜひ観戦したい	機会があれば観戦したい	誘われたら観戦してもいい		
●凡例						
全体 (n=18000)	3.7%	14.1	15.0	43.9	23.3	
性・年代別						
男性・計 (n= 9028)		4.2	16.0	13.8	38.0	28.1
18～25歳 (n= 1528)		5.4	11.2	16.8	41.0	25.7
26～29歳 (n= 1500)		3.7	11.5	14.4	35.8	34.6
30～39歳 (n= 1500)		4.3	14.9	13.3	34.9	32.7
40～49歳 (n= 1500)		3.7	16.3	13.0	35.8	31.1
50～59歳 (n= 1500)		4.4	21.2	13.3	35.6	25.5
60～69歳 (n= 1500)		3.4	20.7	12.1	44.7	19.1
女性・計 (n= 8972)		3.2	12.2	16.3	49.9	18.5
18～25歳 (n= 1472)		4.7	12.9	20.7	42.7	19.0
26～29歳 (n= 1500)		3.9	11.9	17.3	46.1	20.8
30～39歳 (n= 1500)		3.0	10.9	15.9	48.4	21.8
40～49歳 (n= 1500)		2.3	11.3	13.9	49.3	23.1
50～59歳 (n= 1500)		2.2	12.5	14.9	54.5	15.9
60～69歳 (n= 1500)		2.9	13.5	14.9	58.5	10.1

✓ “潜在需要が高く、経験すれば入れ込み度も高い若者”をターゲットに、Jリーグ無料招待による観戦市場と国内旅行市場の活性化を目指しスタート。





## 経過報告

対象年齢の拡大が功を奏し（2015年度より20歳限定→19・20歳限定に）年間約3万人を獲得するプロジェクトに成長。

	会員登録数（※1）	チケット予約数	参画クラブ数
2013年度	18,970 名	16,413	40
2014年度	7,241 名	14,502	32
2015年度	32,461 名	29,100	32
2016年度	27,279 名	22,637	34

（※1）2013～2014年度は20歳登録数、2015年度以降は対象年齢を拡大したため19・20歳登録数となります

**19歳～20歳はゴルフが無料！  
若年層ゴルフ体験者を増やし、  
未来のゴルファーを育てる**

**ゴルフマジ!**  
GOLF MAGIC

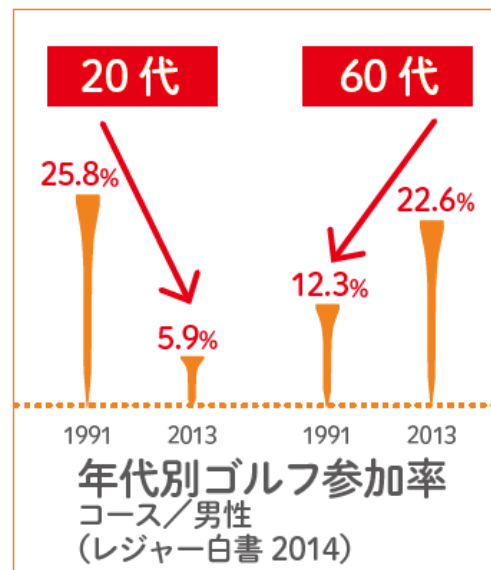
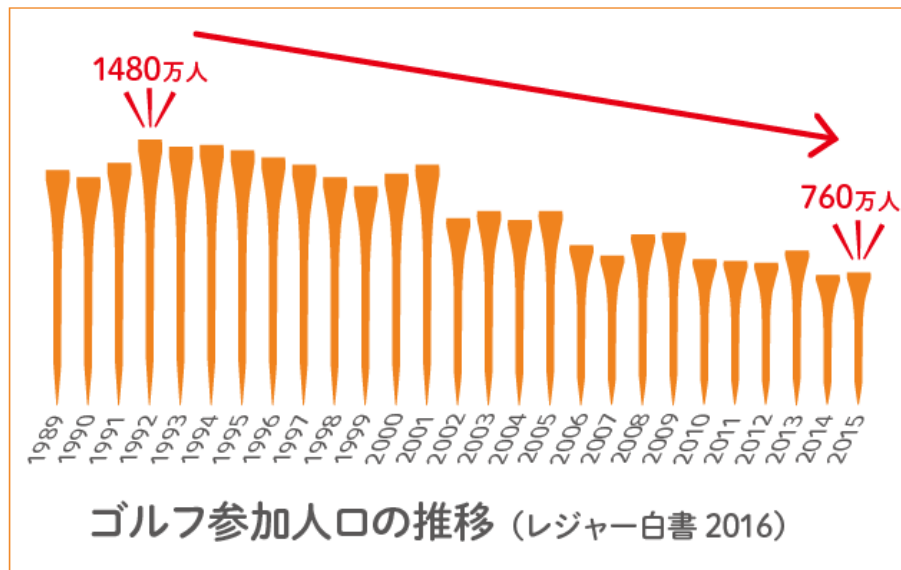
企画内容

19・20歳限定でゴルフ場でのプレー代（9Hまたは18H）と、ゴルフ練習場での練習代（30分・50球）が無料になる企画

市場背景

「リゾートゴルフ」もあり、ゴルフは旅行コンテンツとしても惹きが強い。一方、市場では「ゴルフ人口の大幅減少と高年齢化」が課題。

- ・ゴルフ人口はピーク時から半減
- ・若者の参加率が減少し、参加者が高年齢化

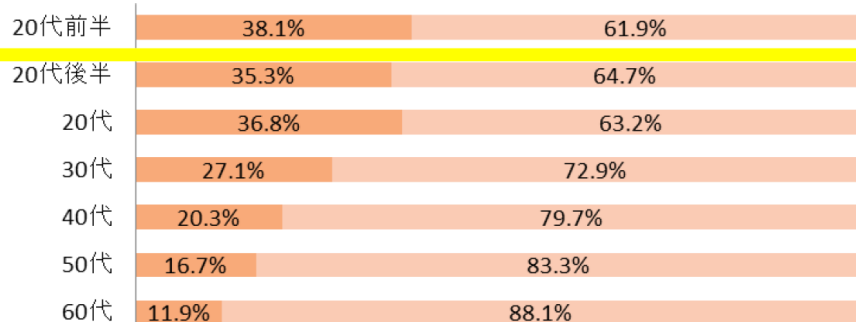


企画背景

- ・潜在需要が高いのは「若者」
- ・潜在需要層の一番のハードルは「価格相場観の欠如」

ゴルフ未経験者中の意向者割合

■ 意向あり ■ 意向なし



未経験意向層に聞いた、ゴルフをやりたいのに始められない理由

1位	どのくらいお金がかかるのかわからない	55.0%
2位	練習にお金がかかりそう	44.0%
3位	マナーやルールがわからない	37.5%
4位	ゴルフクラブやゴルフウェアなど準備にお金がかかりそう	35.0%
5位	ゴルフ場でコースを回るのにお金がかかりそう	25.5%

ともに、ゴルフ市場に関する実態調査2013

✓ “興味はあるが、価格相場観がなく二の足を踏んでいる若者”  
をターゲットに、ゴルフ無料化による市場活性化を！とスタート。





**経過報告**

対象年齢の拡大が功を奏し（2016年度より20歳限定→19・20歳限定に）2014年度と比較すると、2016年度には会員登録数3倍以上、アクション数2.8倍以上に。

	会員登録数（※1）	のベアクション数（※2）	参画ゴルフ場数	参画ゴルフ練習場数
2014年度	9,220 名	17,800	97	180
2015年度	18,004 名	29,100	156	286
2016年度	30,054 名	49,856	158	240

（※1）2014～2015年度は20歳登録数、2016年度からは対象年齢を拡大したため19・20歳登録数となります

（※2）ゴルマジ会員が、ゴルマジ！を使ってゴルフ場・ゴルフ練習場を利用した回数（のべ）です



**19歳～21歳限定**

**全国の温泉施設の立ち寄り入浴が無料！  
全国の若者に温泉体験のきっかけ提供**

**お湯マジ!**  
ONSEN MAGIC

## 企画内容

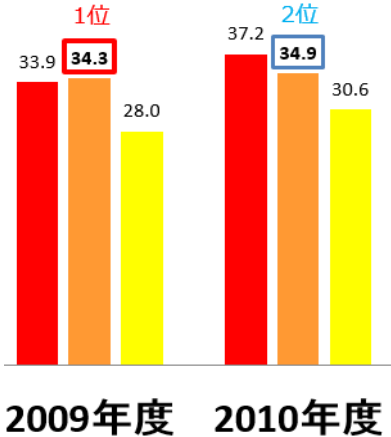
19・20・21歳限定で全国の温泉施設での立ち寄り入浴料（タオル・入湯税等別）が無料になる企画

## 市場背景

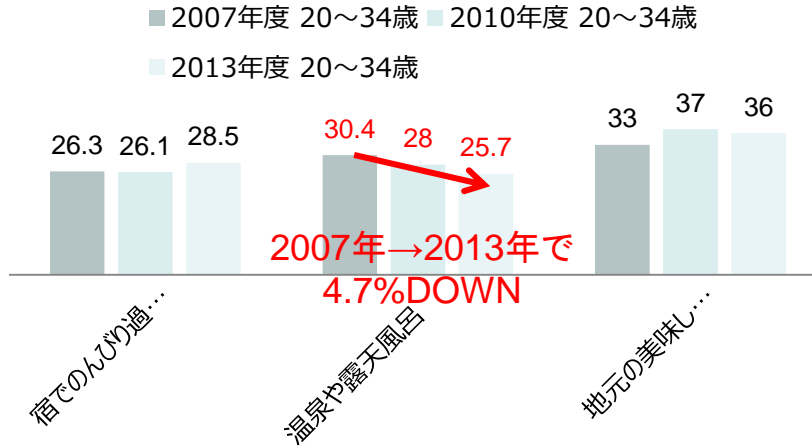
- ・国内旅行の目的として「地元の食」が「温泉」を2010年度に境に逆転
- ・年代別に見ると、若年層の目的需要の低下が他年代に比べ顕著
- ・温泉施設自体が減少している状況

### 【宿泊旅行の目的】 上位2項目の逆転

- 地元の美味しいものを食べる
- 温泉や露天風呂
- 宿でのんびり過ごす



### 【宿泊旅行の目的】 20～34歳は温泉需要の経年変化が大きい



### 【温泉施設の減少】 温泉を利用した宿泊施設数は 1995年をピークに減少傾向

温泉利用状況経年変化表(環境省)

	温泉利用 宿泊施設数	平成7年比
平成7年(1995年)	15,714	
平成15年(2003年)	15,390	-324
平成20年(2008年)	14,787	-927
平成25年(2013年)	13,358	-2,356

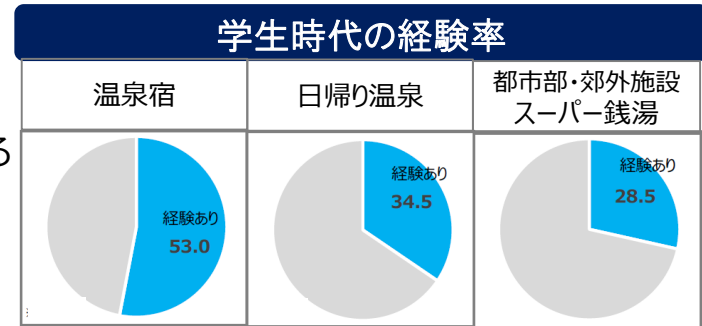
## 企画背景

- ・社会人になるまでの温泉経験率が低い「若者」
- ・認知し、利用して、魅力を体験するきっかけがない状態

### [現状の温泉経験実態]

- 自らの意志、費用負担で温泉施設(※)へ行く機会が十分にある大学生世代の若者でも、  
**温泉施設の利用経験は2人に1人以下**にとどまる

※温泉施設とは、日帰り専門、宿泊施設の立ち寄り利用・宿泊含む温泉施設・温泉宿の利用を指す



出典：じゃらんリサーチセンター「若者のコンテンツ需要調査」（2015年）より

### [行かない理由(アンケート上位)]

- 「自宅の近くに施設がない」 = 近くにあっても活動範囲に無く知らない
- 「施設で入浴したいと思わない」 = 体験したことが無いため、施設の魅力が伝わっていない
- 「一緒に利用する友人・知人がいない」 = 一人では利用できず、誰かを誘うハードルも高い

✓ 若者に日本の素晴らしい温泉を体験してもらおう  
“**きっかけ=無料**”での提供を行い、  
温泉や地域の魅力に触れ、宿泊旅行へ展開し、  
施設や地域の**リピーターやファン**を創る企画！としてスタート。



温泉と出会おう。0円の湯から。

**19歳～21歳**なら「全国」の温泉が**無料**

**0円**

1995年(平成7年)4月2日～1998年(平成10年)4月1日生まれ ※対象の方は19歳～21歳になる前でもご利用いただけます。

## 経過報告

- ・第1弾で一部施設に利用者が偏ってしまう傾向が見られたため、利用平準化を狙い、利用条件を変更（3回まで→1回もOK）
- ・男性利用率が高く、ここまで男性需要創出への一定寄与は果たせている

	実施期間	参画施設数(※2)	参加登録数	のべアクション数(※1)	アクション男女比
第1弾 2015年度	2015年9月28日～ 2016年3月31日	184	153,178 名	114,656	79.9%:20.1%
第2弾 2016年度	2016年9月1日～ 2017年3月31日	184	153,456 名	63,337	82.6%:17.4%

(※1) お湯マジ！会員が、お湯マジ！クーポンを利用した回数（のべ）です (※2) 期間中最大時の施設数です

## 利用者アンケート

- ・お湯マジ！を通じて**初めて利用した施設がある**：71%
- ・お湯マジ！を利用した温泉施設へ「**今後有料でも行きたい**」：93.7%
- ・お湯マジ！がきっかけで、「**宿泊旅行を新たに計画**」+「**日帰り予定を宿泊に変更**」：55.9%
- ・利用施設で入浴以外に**何かしらサービスを購入・支払いをした**：82%（飲み物、売店等）

目的・狙い

女性の新規需要創出

対象

今年度19歳～21歳になる女性  
(大学生・有職者問わず)

期間

2017年9月4日～2018年3月31日  
(事前会員登録は2017年8月から開始)

提供特典

※内容・条件は自由

- ・(必須) 立ち寄り入浴無料クーポン  
(3年間で3回 or 1回)
- ・(任意) カップル・グループ向け特典 (男性同行者からの売上狙い)
- ・(任意) 宿泊予約者向け特典 (宿泊施設の場合)

女性視点での  
施設検索軸  
(新設予定)

- ・ 駅近！アクセスの良い温泉施設
- ・ 美肌効果のある(泉質の)温泉施設
- ・ フォトジェニックな温泉街にある温泉施設
- ・ グルメ・スイーツが充実した温泉施設



現在、9月以降の途中参画施設も募集中！

〈お湯マジfor GIRLS！企画についてのお問い合わせ〉

(株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター

「お湯マジ！」事務局 担当：山本

03-6835-6192 (直通) yuji\_yamamoto@r.recruit.co.jp



# 若者の国内旅行需要創出プロジェクトにより 本当に需要は創出されるのか？

～雪マジ！編～



# 調査概要

## 【2016年度】スノーリゾートに関するマーケット調査

### ▶調査目的

雪マジ！開始前に実施した（2011年1月）調査結果と比較し、スキー・スノーボードの実施者は増えたのか？を検証する

### ▶調査方法

インターネット調査

### ▶調査パネル

- ・全国の18～29歳の男女
- ・性別（2区分）×年代別（1区分）＝2区分を均等回収割付

### ▶調査期間

2017年5月23日（火）～5月29日（月）

□2017年調査 回収数

	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	合計
男性	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2400
女性	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2400
合計	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	4800

□2011年調査 回収数

	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	合計
男性	194	260	101	149	158	182	198	192	233	360	439	534	3000
女性	323	491	113	106	151	180	173	229	235	297	333	369	3000
合計	517	751	214	255	309	362	371	421	468	657	772	903	6000

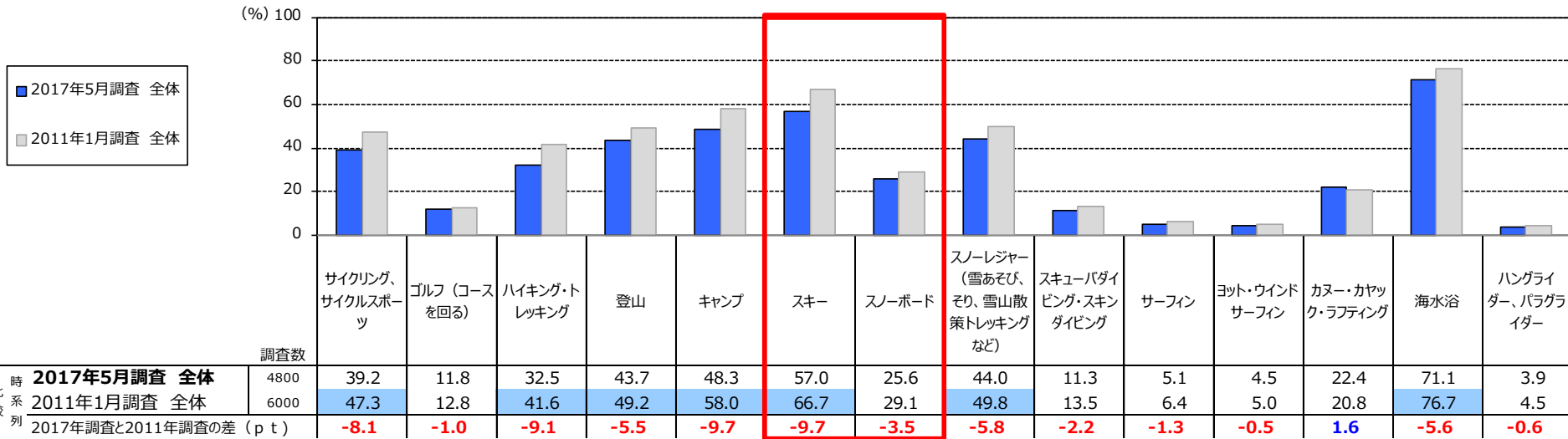
・ウェイトバック値

男性	1.29	0.96	2.48	1.68	1.58	1.37	1.26	1.30	1.07	0.69	0.57	0.47	
女性	0.77	0.51	2.21	2.36	1.66	1.39	1.45	1.09	1.06	0.84	0.75	0.68	

# 過去に経験したことのあるスポーツ

- 2011年と2017年を比較すると、18-29歳全体ではスキー・スノーボードの経験率は低下

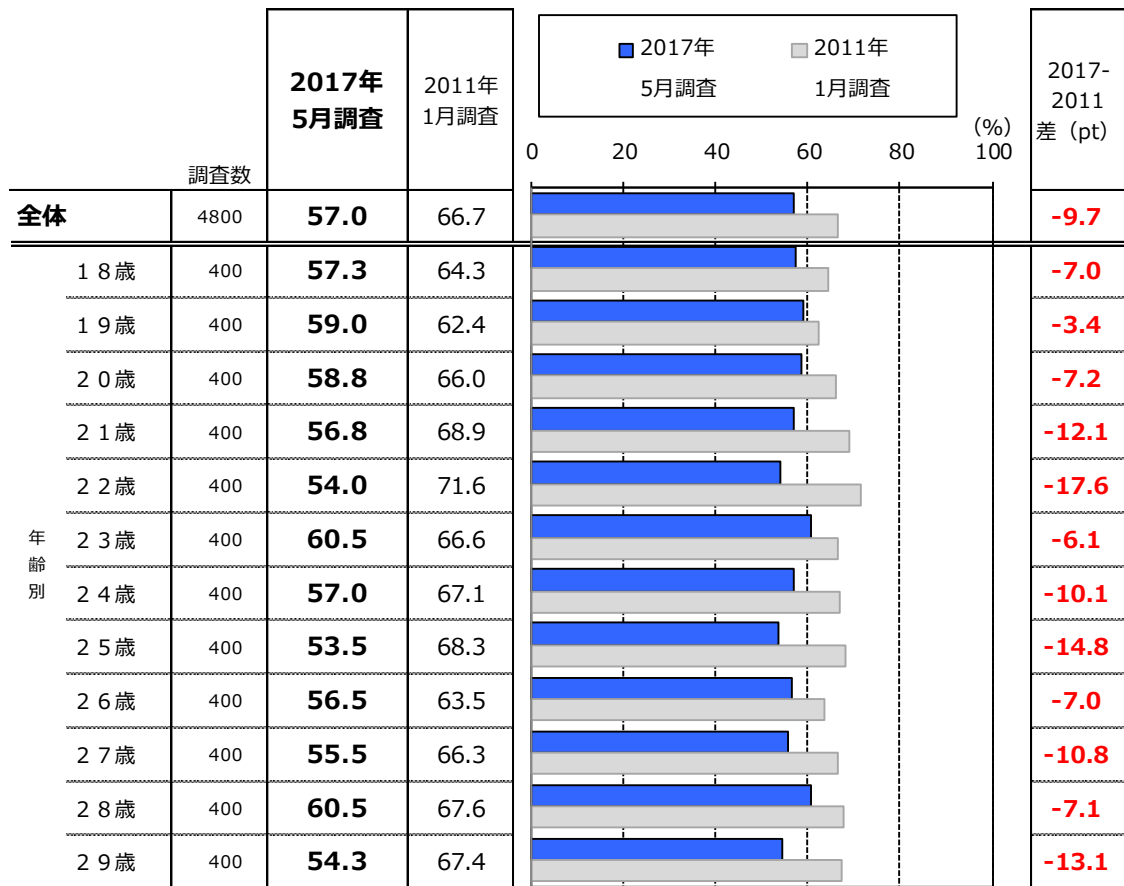
■ 経験したことがあるスポーツ (スクリーニング：全体/各単一回答)



# スキー経験率の推移

- ユーザーの9割がスノーボード実施者の雪マジ！ではスキー経験率への増加寄与はほぼ見えない

■ 経験したことがあるスポーツ<<スキー>> (スクリーニング：全体／単一回答)



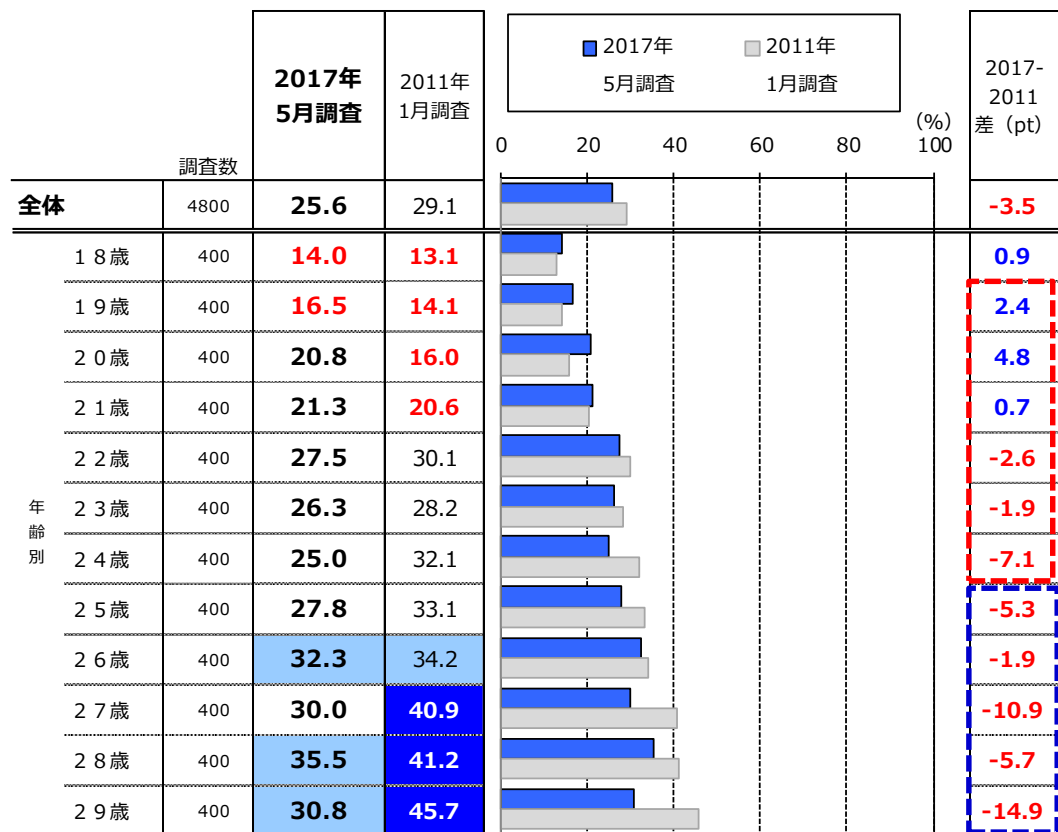
※全体より 10 10pt以上高い 5 5pt以上高い 5 5pt以上低い

S07\_02

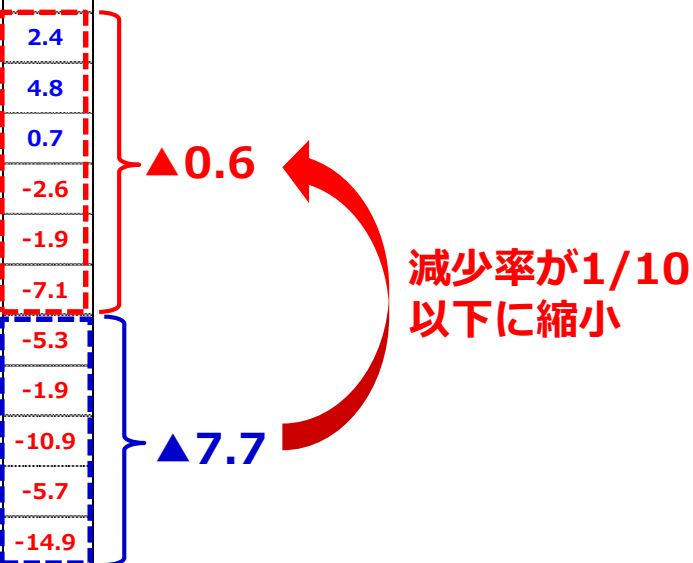
# スノーボード経験率の推移

- 雪マジ！開始前と比較し、スノーボード経験率は着実に増加している
- 雪マジ実施前と比較し、減少幅が1/10に縮小している

■ 経験したことがあるスポーツ«スノーボード» (スクリーニング：全体／単一回答)



※全体より 10 10pt以上高い 5 5pt以上高い 5 5pt以上低い

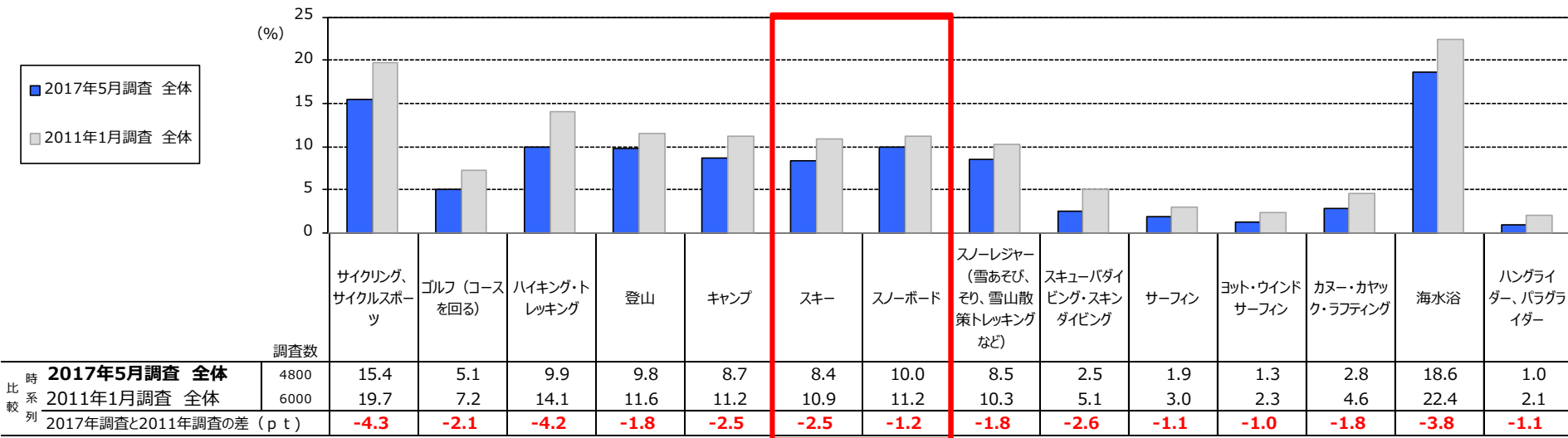




# 直近1年で実施したスポーツ

- 2011年と2017年を比較すると、18-29歳全体ではスキー・スノーボード共実施率は微減

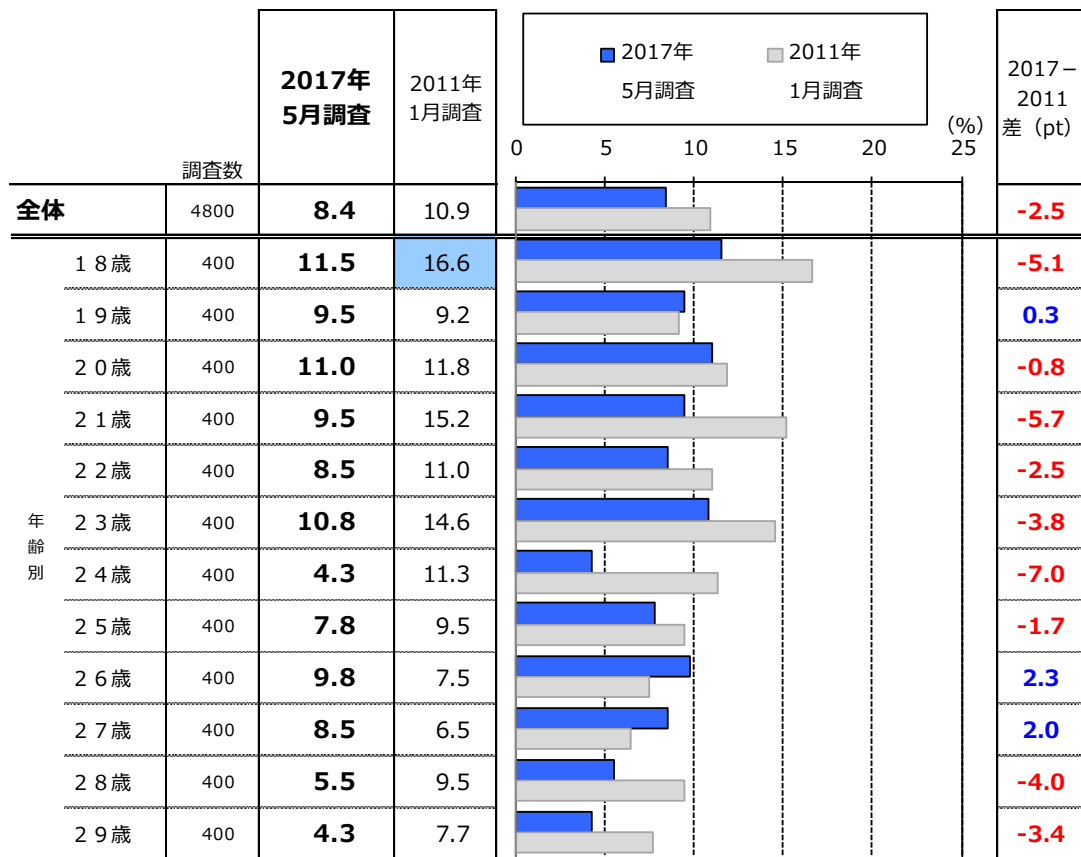
■ 2016年度（2016年4月～2017年3月）に経験したことがあるスポーツ（スクリーニング：全体／各単一回答）



# 直近1年のスキー実施率

- 会員の9割がスノーボードの雪マジ！ではスキー実施率への増加寄与はほぼ見えない

■ 2016年度（2016年4月～2017年3月）に経験したことがあるスポーツ<<スキー>>  
（スクリーニング：全体／単一回答）



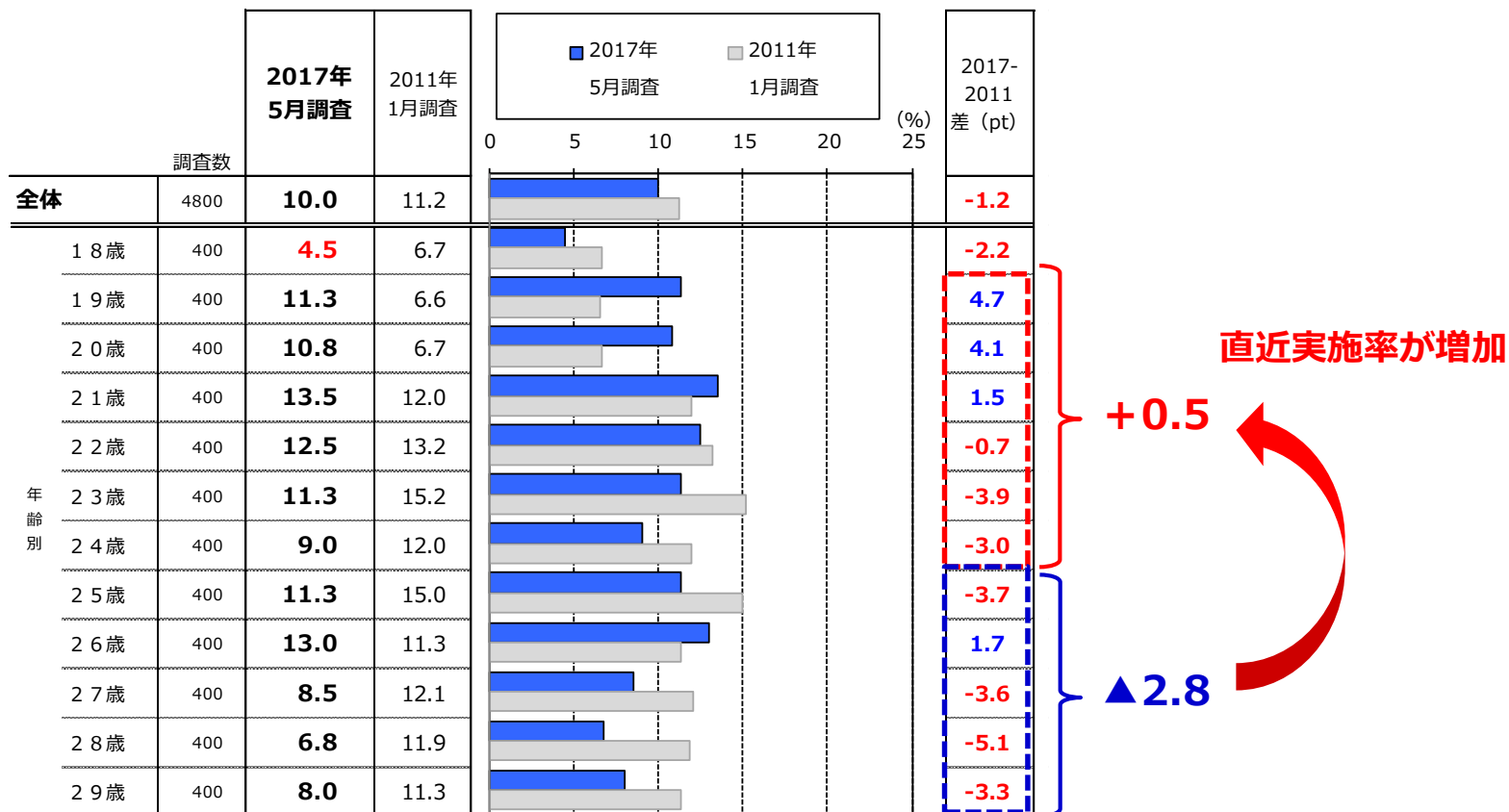
※2011年調査では「昨年（2010年）にしたスポーツ」として回答

※全体より **10** 10pt以上高い **5** 5pt以上高い **5** 5pt以上低い

# 直近1年のスノーボード実施率

- 雪マジ！開始前と比較し、スノーボード実施率は増加傾向
- 19歳～21歳で着実に増加中

■ 2016年度（2016年4月～2017年3月）に経験したことがあるスポーツ「スノーボード」  
（スクリーニング：全体／単一回答）



※2011年調査では「昨年（2010年）にしたスポーツ」として回答

※全体より **10** 10pt以上高い **5** 5pt以上高い **5** 5pt以上低い

# 学生時代の経験・来訪回数別の直近1年の実施率

- 学生時代のスキー・スノボ経験有無により、社会人になってからのアクティブ率が異なる
- 特に来訪回数が多い人、雪マジ利用者の雪マジ利用者のアクティブ継続率は高い

■ 2016年度スキー・スノーボード経験状況（スクリーニング：全体/各単一回答）

		スキー、スノーボードいずれか経験有り				スキー、スノーボードいずれか経験有り
		スキーのみ経験有り	スキーとスノーボード両方経験有り	スノーボードのみ経験有り	スキー、スノーボードいずれも未経験	
●凡例						
社会人・計	(n=1728)	3.6	6.8	8.2	81.4	18.6
	「雪マジ!」利用者	12.0	20.4	27.0	40.5	59.5
スキー場来訪経験別	1回	12.6	13.3		79.5	20.5
	2回	7.9	7.9	19.7	64.5	35.5
	3~4回	4.6	24.6	13.8	56.9	43.1
	5~9回	9.3	25.3	25.3	40.0	60.0
	10回~19回	12.5	28.1	37.5	21.9	78.1
	20回以上	11.8	41.2	26.5	20.6	79.4
	覚えていない	10.3	10.3	17.2	62.1	37.9
23~29歳・社会人（専門卒以上）	(n=1132)	3.9	7.2	9.0	79.9	20.1
学生時代の経験別	学生時代スキー・スノボ実施層	6.7	17.5	18.3	57.5	42.5
	学生時代スキー・スノボ非実施層	2.2	14.5		90.9	9.1
	高校までに経験あり	4.1	3.8	6.9	85.2	14.8
	経験なし	0.8			97.0	3.0

※全体より 10 10pt以上高い 5 5pt以上高い 5 5pt以上低い

- ◆ 若年層における需要創出効果は見え始めている
- ◆ 10年、20年単位で継続することが本当の意味での需要拡大につながる

【お問い合わせ先】  
株式会社リクルートライフスタイル  
じゃらんリサーチセンター  
03-6835-6250

